

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。使用の際は係員の指示によって行う。棒高跳の練習については、競技開始60分前より主競技場内を使用することができる。

### ○補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路5～6レーンのみとする。
- ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9レーンは女子110mYH、10レーンは男子110H、11レーンは男子110JrHとする。
- ・第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。

### ○雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

### 棒高跳について

競技開始70分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、審判員の指示に従うこと。

## 2 スパイクシューズ等の制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm以下とする。

## 3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
  - ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。
  - ③5000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。
- ※別ナンバーカードは招集所にて配布する。

## 4 選手招集について

- ①選手招集場所は、**第2ゲート付近**とする。
  - ②招集時刻は競技時間を確認すること。
- ※1：棒高跳は、現地で招集を行う。

※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。

③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。

④2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

## 5 競技について

①競技順は、プログラム記載の番号順とする。

②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。

③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。

「不正スタートについて、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」

④短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

⑤予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。

⑥トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差の判定をする。ただし、着順優先とし、各組上位者のみとする。

⑦レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。

⑧下記の種目については、予戦をタイムレースで行い、上位8名で決勝を行う。

男子 100m・200m・400m・800m

女子 100m・200m・400m・800m・100mH・中学100mH

⑨1500m以上のトラック種目はタイムレース決勝とする。

⑩男子5000mW・女子5000mWについては下記の時間を越えて最終周回に入らない。

男子5000mW：35分、女子5000mW：40分、

⑪4×100mリレーのマーカ―は、1カ所のみ使用することができる。使用したマーカ―はそのチームで処理すること。

⑫4×400mリレーに出場するチームの第2～第4走者は、胸に別ナンバーカードを使用する。また第2・第3走者は通過順位確認のため、パンツの左横やや後方につけること。別ナンバーカードは招集所で配布する。

⑬競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。

⑭携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

⑮走高跳の最初の高さは、男子：1m55、女子：1m25からとする。

棒高跳の最初の高さは、男子：3m20、女子：2m20からとする。

⑯走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習									以降
走高跳	男子	150	155	160	165	170	175	180	185	188	3cm刻み
	女子	120	125	130	135	140	145	150	153	156	3cm刻み
棒高跳	男子	300	320	340	360	370	380	390	400	410	10cm刻み
	女子	210	220	230	240	250	260	270	280	290	10cm刻み

⑰三段跳の踏み切り板の位置について、男子：11m、女子9mとする。

## 6 競技用具について

①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検査は競技開始60分前に招集所にて実施する。

②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳、三段跳

※選手の競技場への入退場は、必ず審判員の指示によって行う。

8 表彰について

各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。

※ただし、表彰式は行わないので、1～3位までの入賞者は、正面玄関内ロビーに賞状を取りに来てください。

9 その他

①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。

②応急処置を要する健康上問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。

③更衣室は正面玄関を入れて左側にあるので利用してもよい。

④記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

⑤プログラム配布は競技場内、南エントランスの大会受付にて行います。

※本大会は、1所属 1部 プログラムを購入することとなっています。